

が不可知です。中身は
 は次の通り述べて下さい。
 般は言った

土地の提供をうける権利にならなくても
 と、彼らは、福地家で、広島駅に近
 (日蓮宗、国土院寺)に、木村家代々の(広
 基土地があり、その土地に、将来自らの(木
 の)土地を、予定の隣として、確保してい
 それを、念頭には、協力をして、確保し
 得たは、間取りを、入らず、その、言っ
 わたしは、且、取組の、い、表、の、相
 ち、稀、有、無、類、の、幸、せ、を、得、た、の、た、

3月28日 月曜

3B

一、前略 先刻は、即ち、おた、い、と、き、お
 電、話、し、た、よう、で、大、理、り、と、ま、い、た。
 早、朝、に、つ、い、て、小、ま、の、意、見、な、ど、を、基、子、の、国、際
 書、に、申、し、述、べ、ま、す。

○ 小、ま、の、意、見、の、専、断、新、新、な、お、ま、を、同
 基、本、的、に、出、来、ま、し、た、協、力、し、た、い、こ、は、
 リ、と、す、が、あ、の、土、地、の、提、供、は、以、下、の、よ、う、な
 内、容、を、含、め、て、具、体、化、し、た、時、に、決、定、し、て、ま
 る、性、格、の、内、容、で、す、い、う、の、は

あ、の、土、地、は、そ、の、所、有、地、の、小、ま、の、意、見、を、し、て
 永、代、借、料、を、ま、拂、つ、て、あ、る、も、の、で、す、か、ら、い、な、い、
 別、の、目、的、に、一、部、で、使、用、す、る、の、に、は、
 (1) ち、の、同、意、 (2) 一、家、族、の、同、意

の業という才のしともう言つた
ゴウ

④

○ 8頁目 ケアレス、ミス（イ、マ、）

大正十五年（一九二六）

次に由題と今後の年頃に由連て

（あ）
一、過ちはくりぬきましめんから...
かこの六十年大變（誤解）
意見の計画に理解を得るのは大変と思
ます。シンボビも南に煮つめるのも一歩でし

○ 12頁 三行目から五行目の代りに

③

（お）
その所長とは放射線の影響の連、
分の体への影響を科学的に調べて
もう一回機会があった。被爆後五十年近
をこのかたのことだから、担当者は

○ 13頁 六行目から終るまでを
平屋の奥座敷で眠ていた
どうもを伺いてうなづいた

○ 18頁 二行目（にんかて）

はえれをせずに日本の降伏を原爆が与え
成すまで、遅くせよためではないか日本の

う。神道の場合でも時の権力に逆うなど、^{（悲運）}
 人を祀った例は多いが、いい由をもたない罪人^{（悲運）}祀る例
 はない。少くとも、エロ子三人の一人の親族の感謝
 や神社への参り加など必要。オビマからナッソージ
 ついこの彼もさよふと無理かしう。校庭宛への
 今後一二年の具体的な動きかあはば...

いろいろあるが、またあきらめ、ちうと自に
 つかうのとせは。取るが...

おし... 直然... 下さい... せん

平成二十一年八月二十一日午後二時

小林 久

古田 武彦 敬見

トキ
 小田
 田口

88-37

夏田中町事務所
 市日
 市日

1000-419